

* 第2回 江戸まち たいとう芸楽祭クロージングイベント *

～芸がさね 舞がさね～

江戸から令和へ…
今も浅草に息づく芸能文化をたっぷりと

もとより浅草寺詣りで賑わう浅草は、
江戸最大の盛り場でありました。
移りゆく時代とともに脈々と受け継がれる
伝統芸能を、肩の力を抜いてお楽しみください。



(講談)
神田松之丞 (2020年2月11日ゆ
六代目神田伯山 襲名)



AUN J クラシック・オーケストラ (和楽器演奏)



藤山大樹
(手妻)



浅草花やしき 花振袖 (花振袖の舞)



ビートたけし杯
お笑い日本一受賞者

令和2年2月15日(土) 正午開演(午前11時30分開場)

浅草公会堂

チケット全席指定(1階・2階席)3,000円(3階席)2,500円

台東区民割引: 2階席のみ 2,500円(先着順)・台東区民招待あり

*チケットのご購入については裏面をご覧ください。

お問合せ

江戸まちたいとう芸楽祭実行委員会事務局(台東区役所9階④番文化振興課内)
03-5246-1328(9:00~17:00、土曜・日曜・祝日、年末年始12/28-1/5を除く)
江戸まちたいとう芸楽祭公式サイト <http://www.taitogeirakusai.com/>



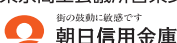
江戸まち たいとう
芸楽祭
Ecomachi-Taito Entertainment Festival
Geirakusai

主催: 江戸まちたいとう芸楽祭実行委員会

後援: 東京都/台東区/(公社)日本劇団協議会/(公社)日本芸能実演家団体協議会

協力: 東京商工会議所台東支部

協賛:



【講談】

枳台を打つ張り扇の小気味良い音とリズムカルな調子で、聴く者をその世界に誘う日本の語り芸、講談。主に武将や偉人の物語など、歴史にちなんだ話を一人で読み聞かせる講談は、江戸時代から明治・大正時代にかけて庶民の娯楽の代表でした。現在では観客の好みに合わせ、講談師によって新作の演目も生まれています。伝統を受け継ぎながら、進化を遂げている講談の迫力を感じてみませんか。

神田松之丞 かんだ まつのじょう (2020年2月11日より、六代目神田伯山襲名)



1983年東京都生まれ。2007年三代目神田松鯉に入門。2016年二ツ目昇進。2018年「第25回浅草芸能大賞」新人賞受賞。「いま最もチケットが取れない講談師」として、講談界のみならず演芸界も代表する存在。『人志松本のすべらない話』『徹子の部屋』『嵐にしがたれ』など多数のテレビ番組に出演、男性向けカルチャー・ライフスタイル誌「pen」では一冊まるごと特集が組まれるなど活躍の場を広げており、講談の魅力を広めていく普及活動にも積極的に取り組んできた。自身の冠番組、TBSラジオ『神田松之丞 問わず語りの松之丞』は、『2019年日本民間放送連盟賞』番組部門 ラジオエンターテインメント番組の優秀賞を受賞。

【和楽器演奏】

AUN J クラシック・オーケストラ あうん じえい クラシックオーケストラ

和太鼓・三味線・箏・尺八・篠笛・鳴り物。通常一緒に演奏されることのない和楽器を再編成し、2008年結成された和楽器のみのユニット。各楽器の第一線で活躍する邦楽家8人が集結、他の和楽器グループにはない独自の世界観を作り上げている。海外においても高い評価を得ており、世界初世界遺産モン・サン・ミッシェル内にて、単独公演を開催、大成功を収めた。2013年からは、「ONE ASIA」をテーマに、世界遺産アンコールワットを皮切りに、ASEAN10カ国でアジア



13カ国の民族楽器奏者との joint concert を大成功させる。国内においても伊勢神宮や薬師寺での奉納演奏、吉野蔵王堂など文化財での演奏も多数。日本文化の普遍性や多様性を国境を越えて発信することで、世界が音楽で繋がるための挑戦を続けている。

今回の演奏者：(写真左から) 井上良平(和太鼓、津軽三味線) 尾上秀樹(中棹三味線) 市川慎(箏、十七絃箏) 石垣征山(尺八) ヒデ(鳴り物)、井上公平(篠笛、津軽三味線)

【手妻】

日本で工夫が加えられ、日本人が独自に完成させた奇術を「手妻」と呼びます。紙で作った蝶を扇子でおおぐと、まるで生きているように舞い飛ぶ「胡蝶の舞」、和紙が卵になってしまう「紙卵」などがあります。こうした奇術は江戸時代から寄席で喜ばれ、今も浅草の寄席で欠かせない存在となっています。

藤山大樹 ふじやま たいじゅ

2010年に手妻の大家、藤山新太郎に師事。国の無形文化財に登録されている「手妻(和妻)」を演じる数少ない継承者の一人。2014年にマジックのアジアチャンピオンになり、2015年 世界大会「FISM(フィズム)」にて5位に選ばれる。現在までに、アメリカ、ロンドン、イタリア、メキシコ、中国、韓国など世界10か国・20都市以上に出演。手妻を通して世界中に日本の伝統文化を伝えている。



【花振袖の舞】 浅草花やしき 花振袖 あさくさはなやしき はなふりそで

日本最古の遊園地「浅草花やしき」に所属の舞踊家たち。江戸時代からの伝統文化・芸能が息づく浅草で、白塗りのお化粧に桃割れの頭髮、肩揚げの施された振袖姿で、凛と華やかに、洗練された美しさと日本の伝統を繋ぐのが花振袖です。優美な舞で至高のおもてなしをお届けします。

【お笑い】 ビートたけし杯 お笑い日本一 受賞者

名誉顧問ビートたけしの「つまらない奴が審査しても面白くない。その日一番ウケた奴に賞を贈る。」という考えのもと、伝説の演芸場「東洋館」で実施される「ビートたけし杯 お笑い日本一」。そこで賞を手にした芸人がクロージングの舞台上に登場します。

第2回江戸まちいたいとう芸楽祭のクロージングを飾るのは、浅草の人々に親しまれてきた芸能文化。講談から漫才まで、日本が誇る語り芸と美しい舞、世界を驚かせた和楽器演奏、手妻といった伝統文化を、たっぷりと楽しむ、「芸がさね 舞がさね」!



▼会場案内 浅草公会堂 (台東区浅草1-38-6)

- ・東京メトロ銀座線「浅草駅」1番・3番出口徒歩5分
 - ・都営浅草線「浅草駅」A4出口徒歩7分
 - ・東武鉄道「浅草駅」北口 徒歩5分
 - ・つくばエクスプレス「浅草駅」A1出口徒歩3分
- ※会場に駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。



Confetti (カンフェティ)

《電話購入》0120-240-540 (10:00-18:00、土曜・日曜・祝日、年末年始 12/28-1/5 を除く)
《Web 購入》<http://confetti-web.com/geirakusai>

※台東区民割引のご購入は上記お電話にて受付します。ウェブでのお申込みはできません。

また「台東区民割引」購入希望の旨を必ず申し出ください。申し出のない場合の返金・交換等の対応は致しかねます。

チケットのご購入

